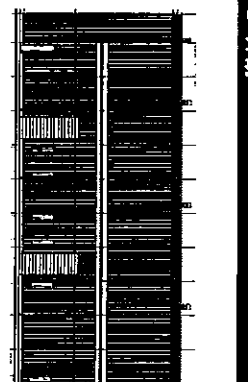
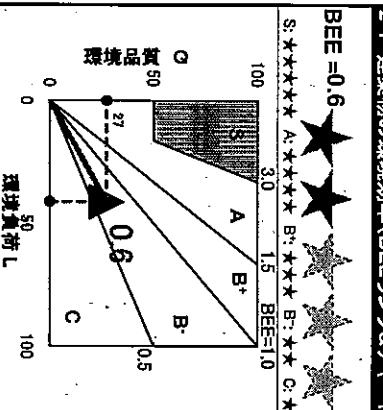
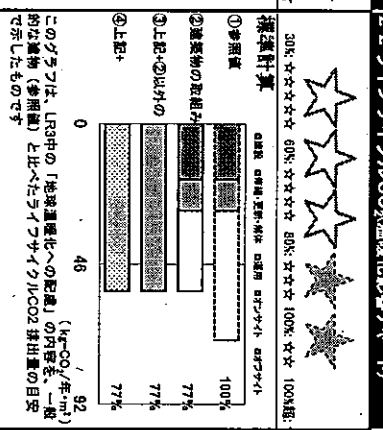
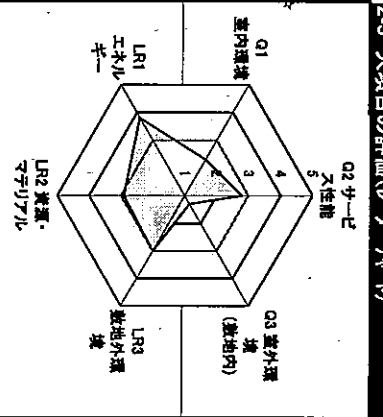
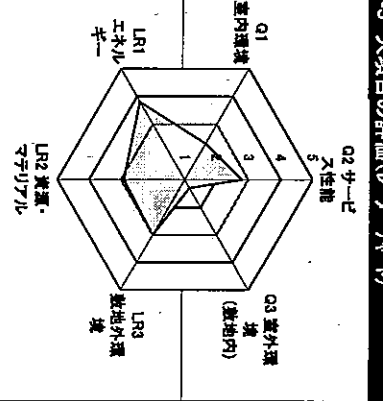


# CASBEE®-建築(新築)

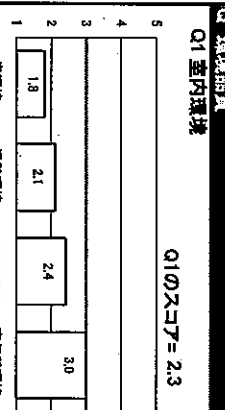
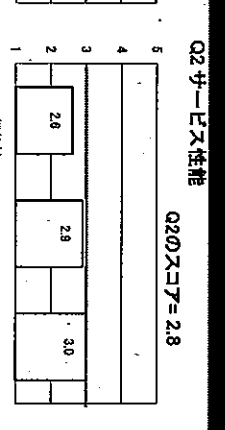
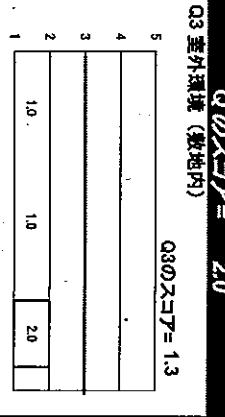
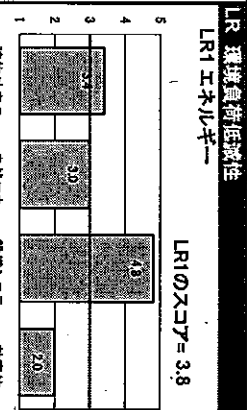
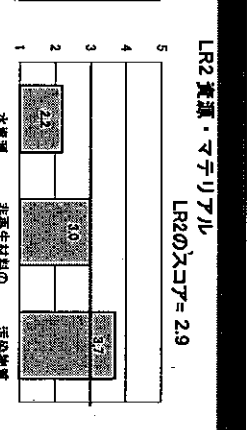
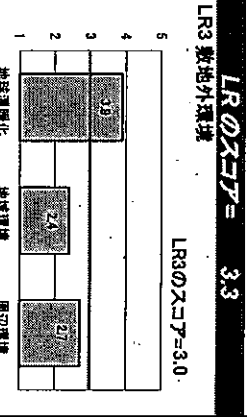
## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-BD NC 2016(2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社運招塗装工業所 新築	階数	地上2F
建設地	埼玉県加須市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	XX 人
地域区分	S地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年10月28日
敷地面積	8,493 m <sup>2</sup>	作成者	村田 行廣
建築面積	2,427 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月9日
延床面積	2,727 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇
			

<b>2-1 建築物の環境効率 (BEEラック&amp;チャート)</b> <p>BEE = 0.6</p> <p>S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★★ C:★</p> 	<p>採算計算</p> <p>30%★★★★★ 60%★★★★★ 80%★★★★★ 100%★★★★★ 100%採算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組 ③上取+②以外の ④上取+</p> 	<p>2-2 ライトサイクリングCO2(温暖化影響率)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への影響」の項目を一般化的に算出したものです。</p> 
<b>2-3 大項目の評価 (U-チャート)</b> 		

2.4 中項目の評価 (V-チャート)

<b>Q1 室内環境</b> <p>Q1のスコア = 2.3</p> 	<b>Q2 サーパー性能</b> <p>Q2のスコア = 2.8</p> 	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <p>Q3のスコア = 2.0</p> 
<b>LR 環境負荷低減性</b> <p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p> 	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p> 

3 設計上の配慮事項

総合		その他	
<p>工場用途というところもあるが、設備システムの一次エネルギー量については良い結果にできたと思う。</p>	<p>特になし。</p>		
<b>Q1 室内環境</b> 別紙_判断内容一頁参照。	<b>Q2 サーパー性能</b> 別紙_判断内容一頁参照。		
<b>LR1 エネルギー</b> 別紙_判断内容一頁参照。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 別紙_判断内容一頁参照。		
<b>LR3 敷地外環境</b> 別紙_判断内容一頁参照。	<b>LR4 周辺環境</b> 別紙_判断内容一頁参照。		

■ CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷低減性), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減)  
 ■ 「ライトサイクリングCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用・廃棄・解体廃棄に至る一生のCO2の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライトサイクリングCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の算定・省エネルギー・省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>C 建築物の環境性能</b>										<b>2.0</b>
<b>C1 室内環境</b>							0.31			2.3
1 音環境						1.8	0.15			1.8
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						1.0	0.40			
1 開口部遮音性能						1.0	0.60			
2 界壁遮音性能						1.0	0.40			
3 界床遮音性能(質量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						1.0	0.20			
2 温熱環境						2.1	0.35			2.1
2.1 差温制御						3.2	0.50			
1 室温						3.0	0.38			
2 外皮性能						1.0	0.25			
3 ヲーン別制御性						5.0	0.38			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						1.0	0.30			
3 光・採光環境						2.4	0.25			2.4
3.1 昼光利用						4.2	0.30			
1 昼光率						5.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	0.40			
3.2 グレージ対策						1.0	0.30			
1 昼光制御						1.0	1.00			
3.3 照度						4.0	0.15			
3.4 照明制御						1.0	0.25			
4 空気環境						3.0	0.25			3.0
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質						4.0	1.00			
4.2 換気						2.6	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能						4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33			
4.3 運用管理						1.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視						1.0	0.50			
2 喫煙の制御						1.0	0.50			
<b>G2 サステナビリティ</b>							0.30			2.8
1 機能性						2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40			
1 広さ・収容性						5.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応						1.0	0.33			
3 ハードウェア計画						1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						3.3	0.30			
1 広さ感・量感						4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース						5.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建築物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						5.0	0.20			
3 主室内壁仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						1.4	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						1.0	0.20			
3 電気設備						1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20			
5 通信・情報設備						1.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.30		3.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		
1	階高のゆとり	一番小さい階高で4.0m	5.0	0.60		
2	空間の形状・自由度	内部耐力がほぼ無い	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30		
3.3 設備の更新性			2.6	0.40		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		
2	給排水管の更新性		1.0	0.20		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		
6	ハイブリットシステムの確保		3.0	0.20		
G3 意外環境(敷地内)			-	0.39		1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		1.0
2 まちなか・景観への配慮			1.0	0.40		1.0
3 地域性・コミュニティへの配慮			2.0	0.30		2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		
3.2 敷地内温暖環境の向上			2.0	0.50		
R1 建築物のエネルギー性能			-	0.40		3.3
R1 エネルギー			-	0.40		3.8
1 建築物外皮の熱負荷抑制			3.4	0.12		3.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		3.0
3 設備システムの効率化			4.8	0.61		4.8
4 効率的運用			2.0	0.24		2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		
4.1 モニタリング			3.0	0.50		
4.2 運用管理体制			1.0	0.50		
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
R2 資源・エネルギー			-	0.30		2.9
1 水資源保護			2.2	0.20		2.2
1.1 節水			1.0	0.40		
1.2 雨水利用・排水水等の利用			3.0	0.60		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		3.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		
1 消火剤			-	0.50		
2 発泡剤(断熱材等)			5.8	0.50		
3 冷媒			3.0	0.50		
R3 敷地外環境			-	0.30		3.0
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33		3.9
2 地球温暖化への配慮			2.4	0.33		2.4
2.1 大気汚染防止			1.0	0.25		
2.2 温暖環境悪化の改善			3.0	0.50		
2.3 地球インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		
3 交通負荷抑制			4.0	0.25		
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1 騒音			3.0	1.00		
2 振動			-	-		
3 悪臭			-	-		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		
1 風害の抑制			3.0	0.70		
2 砂塵の抑制			-	-		
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		
1 建物照明及び屋外照明の明るさの調整による眩光の対策			1.0	0.70		
2 屋外の建築物による反射光のシフトへの対策			3.0	0.30		

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■ 使用評価ソフトバージョン










CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	株式会社蓮沼建設工業所工場 新築工事	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	2.0	=	5.9
重点項目の各スコアへの合計点 				

重点項目の各スコアへの合計点	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上
がんばろう 6.0未満		 	     

## 3 重点項目についての環境配慮概要

① ライフサイクルCO2削減 スコア平均 3.9

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア <input type="text" value="3.9"/>
-------------	--------------	--------------------------------------

複雑な敷地形状ではあったが、車路も含めて駐車場や駐輪場をうまく配置できた。

② 緑の保全・創出 スコア平均 2.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア <input type="text" value="1.0"/>
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア <input type="text" value="2.0"/>
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア <input type="text" value="3.0"/>

特になし

: 入力欄